

相馬ゆうこの



HP



南千住 レポート

まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

区議団控え室（荒川区役所内）

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

✉ arajcp@tcn-catv.ne.jp

araken-nan.jugem.jp

区の新年度予算案～今年も“過去最大”に

2/16～3/17まで区議会が開会、区の新年度予算案が審議されます。

一般会計、一般会計予算案は、区民税収や財政調整交付金（法人10年で1.4倍 税+固定資産税の配分）の増加を見込み、過去最大の1367億2千万円（前年度比+47億9千万円・3.6%増）に。区民生活が深刻な一方で、区の予算規模は年々増大し、10年間で1.4倍に。基金（区の貯金）も2016年327億円→26年430億円に増加です。



2016年 2026年

一般会計予算は
過去最大

1367億円

主な重点施策

子育て支援	産婦健診の費用助成、産後ケアの費用軽減など	8338万円
	5歳児健診の実施	909万円
	夏休みの子どもの遊び場の提供	320万円
	ひとり親の転居費用の助成	305万円
教育	英語教育の推進 ・教員用デジタル英語教科書の導入 ・中学校全学年に英検の費用補助 など	1.5億円
	中学校部活動の民間委託モデル実施の拡大	2853万円
	特別支援学級の新設、支援員の増員	2465万円
医療	予防接種の拡充	3.3億円
	在宅医療の24時間対応のための補助	1197万円
介護・障害	障害者の生活支援の拡充 ・ガイドヘルパーの報酬引き上げ ・生活用具給付の拡充	6385万円
	重度障害者グループホームの整備	5559万円
	ケアマネ定着に事業所へ補助金など	360万円
防災・土木	宮前公園の整備（第三期）	17.1億円
	耐震化補助の拡充、アスベスト除去費用の助成など	9.2億円
	災害時の備蓄の拡充 ・避難所用テント、ポータブル蓄電池の備蓄 ・段階的に食料を1日分→3日分に など	2.8億円
区内経済	中小事業者の設備投資、DX化の補助拡充など	5億円
	プレミアム付きお買物券のデジタル化	1.4億円
その他	新たな「荒川区基本構想」等の策定	5793万円
	行政手続きのオンライン化の拡充 シティプロモーションの推進	3743万円 1356万円

学校給食や教材・修学旅行などの無償化、シルバーパスの費用助成などを継続するほか、主な施策では○ワクチン助成拡大○プレミアム付きお買物券のデジタル化○行政手続きのオンライン化促進○夏休みの子どもの遊び場の検討など。

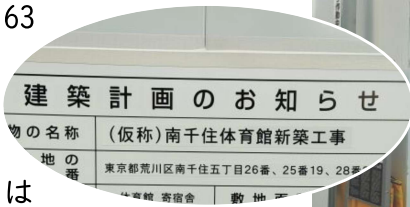
くらし優先の 物価高騰
予算編成を の中で深刻
なくらしの支援、住み続けられるまちづくりが求められます。自・維政権のもとで医療費値上げや軍事費増大が狙われており、地域から暮らしと平和の声を広げたい。

家賃助成や就学援助の拡大、地域交通の確保、保育・教育の増員など提案します。ご意見もお寄せ下さい。

南千住にプロバスケットチームがやってくる？

5丁目の柳通り、郵便局の向かいで建設工事、またマンション？と思って看板を見ると…「体育館新築工事」とのこと。

計画では、敷地面積1,638㎡に、2階建ての体育館と6階建て（高さ19.81m）の寄宿舍（18室）の2棟を建設。事業主は



「三井住友銀行」で体育館はバスケットボール仕様のようです。調べてみると、三井住友銀行の女子バスケットボールチームが今年度からプロリーグに参戦しており、選手の寄宿舍兼練習用の体育館といった本拠地になるのでしょうか。着工は6月から、完成は2028年1月末を予定。区としても地域への影響やスポーツ振興と地域活性化に役立つ交流などを検討してみてもはどうでしょうか。

「三井住友銀行」で体育館はバスケットボール仕様のようです。調べてみると、三井住友銀行の女子バスケットボールチームが今年度からプロリーグに参戦しており、選手の寄宿舍兼練習用の体育館といった本拠地になるのでしょうか。着工は6月から、完成は2028年1月末を予定。区としても地域への影響やスポーツ振興と地域活性化に役立つ交流などを検討してみてもはどうでしょうか。

区の「1人4千円給付」が始まります



昨年末に急遽、実施が決定した「区民1人あたり4千円給付」のお知らせが始まっています。対象は「昨年12月25日時点で住民票がある方」ですが、「3月31日までに生まれる子ども」も対象となります（詳細は下記☎へ）。

支給は3月から これまでに荒川区から給付金を振り込まれたことがある方は、はがきで通知が届き、申請は不要です。口座振込は3月上旬頃を予定。

それ以外の方は3月下旬以降に封筒で申請書が届き、郵送かオンラインで申請、1か月程度で振込みされます。不明点などお訊ねください。

対象	令和7年12月25日時点で荒川区に住民登録がある方 ※対象者がいる世帯で、令和8年3月31日までに出生した子どもも対象です。申請方法は、お問い合わせください
給付額	1人当たり4000円 ※世帯主の口座に世帯全員分をまとめて振り込みます
申請方法	▶以前に、荒川区からの給付金を本人口座で受給した方等……申請不要 ※2月中旬以降、順次、支給通知書（はがき）を送付しますので、通知書に記載された振込口座を確認してください ▶上記以外の方……3月下旬以降に申請書（封書）を送付します。申請書に記載された方法（オンラインまたは郵送）で、6月30日（必着）までに申請してください

【問合せ】 -----
荒川区物価高騰対応給付金コールセンター
平日8:30~17:15
☎ 0120(925)030

〈法律・生活相談〉

3月の定例法律相談日は 12日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の昼間に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

“きこえの支援”で いつまでも元気に



年をとるにつれて耳の聞こえが悪くなる「加齢性難聴」により、認知症のリスクが高まったり周囲から孤立してしまうことなどを防ぐため、補聴器の適切な使用が大切です。しかし、補聴器は平均的な価格でも両耳で20万円以上と高額で、購入をためらう方も少なくありません。

17日(火)の区議会本会議で、日本共産党区議団は補聴器購入費助成の拡充、身近できこえの相談・調整ができる環境づくりを求めて質問しました。

助成額の引き上げを

荒川区では、2022年から65歳以上を対象に補聴器の購入費助成を開始。申請は年々増加し、4年間で約900件です。

一方で助成額は、当初2.5万円から現在7万2450円にあがりましたが、助成を利用した方の平均購入額は24万7240円、最高額は73万8000円。助成を利用しても15万円以上の出費に。

都も自治体へ補助を実施 都も2024年度から助成を行う自治体に対して費用の1/2を補助しており、上限額は非課税世帯14万4900円(※)です。すでに千代田、港、台東、葛飾の4区が、都の補助にあわせて非課税世帯の助成額を14万4900円に引き上げており「荒川区でも助成額引き上げを」と求めました。

専門の技能者や販売店をふやして

申請には医師の診断書が必要で、病院から紹介された販売店で購入するケースが多いようです。23区内には専門的な知識を持った「認定補聴器技能者」が543名おり、技能者が常勤する「認定補聴器専門店」が87店ありますが、荒川区にだけ技能者がおらず、専門店もありません。

認定店の件数

世田谷、豊島	8
千代田	7
中央、新宿	6
目黒、大田、杉並	5
台東、品川	4
江東、渋谷、北、板橋、練馬、足立、江戸川	3
墨田、中野、港	2
文京、葛飾	1
荒川	0

国の基準 区の答弁は現状の確認のみ、拡大も必要 消極的で残念。そもそも聴力障害者の対象が狭いため、対象拡大など国の基準見直しも必要。引き続き頑張ります。

実際の費用は助成額の3倍

助成額	72,450円
平均購入額	247,240円
最高額	738,000円



※障害者として認定されない「中等度」難聴児の補聴器購入費助成にあわせた額



実際、助成を利用した方の9割が区外で購入、区内は1割だけです。

その人にあった調整、購入後の使用トレーニングや定期的なアフターケアなど、必要とする方が安心して購入できる環境づくりが必要です。技能者や専門店をふやすため資格取得費用の助成、健康診断での聴力検査の実施など、きこえの環境整備を求めました。



東京大空襲に関する展示会

今だからこそ見ておきたい、東京大空襲の資料や写真パネルの展示があります。

3/5~3/10 都庁第一本庁舎1階
(9~18時半)

3/5~3/18 東京芸術劇場・地下1階
(11~20時)



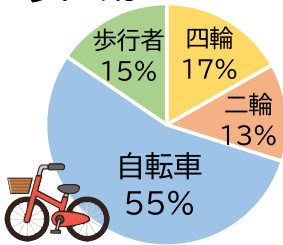
自転車の安全走行とインフラ整備を

4月から自転車の交通違反も“青切符”導入。16歳以上の違反者は反則金を課せられます。コロナ禍以降、通勤通学や飲食品の配達など自転車利用がふえ、安全対策の強化を求める声もあがっています。



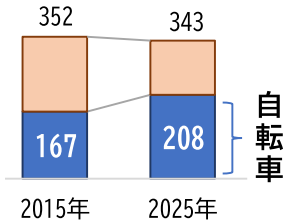
自転車事故 10年間で1.2倍

事故死傷者で
多いのは…



2025年の区内の交通事故件数は343件で、前年より10件減少。この10年間で事故件数は微減ですが、自転車の関与件数は2015年167件→25年208件で1.2倍に。2025年は区内の事故総数の約6割を占め、件数・割合ともに増加しています。

【区内の事故件数】



事故による死傷者は375人で、前年より3人増に。自転車乗車中が5割を超えており、車道走行が原則とされ取締りが厳しくなる中でさらに増えないか、心配もあります。

国道4号で 都バスと自転車が

発生した事故の概要。都営バス[草43]の車両が三ノ輪橋停留所を発生し直進していたところ、歩道を走行していた自転車がガードレールの切れ目から車道に進入、バス車両後方に接触。自転車に乗っていた10代の方は転倒し顎を骨折する大怪我に。



いのちと暮らし 大切にする町に

怪我をされた方の回復を願うとともに、原因を「個人の不注意」にとどめず、国・都・区が安全な道路環境の整備をすすめることが必要です。



千住間道も自転車専用道が狭く走れなくなっています

道路交通法の改正で、自転車の青切符導入とともに、自動車に対し「自転車を追い越す際は減速し1.5m程度空ける(5/23～)」「生活道路は上限30km/hとする(9/1～)」ことが義務付けられますが、そもそも狭い車道で自転車と並走することに、ドライバーからも不安の声が。

安全走行のルール徹底とともに、人にも自転車にもやさしいインフラ整備に、荒川区からも取り組みたい。

ご意見・ご質問頂きました ○メールで「汐入東小の汐入小への統合計画が3年延期され…29年度(令和11年度)入学予定の子どもたちは6年生の1年間だけ転校を強いられる状況に。…先日、区教育委員会へ改善を求める意見を提出しましたが、…従来通りの運用を続ける回答が予想されます。…卒業まで一貫した環境で過ごせるよう、6年生時の強制転校の解消、段階的な募集停止や通学区域の柔軟な運用を、教育委員会に提案してほしい」と切実な声です。

